

### 症状に合わせた靴

身体機能に合わせた靴を選ぶことも大切です。開閉の種類、素材(伸び縮み)などが異なるさまざまな靴があります。

#### 開閉

マジックテープ



ファスナー



スリッイン

(しゃがまずにスッと履ける)

#### 素材

合皮



ポリエステル



### ひとそれぞれで足の形が違います!

採寸ができる人にきちんと測ってもらいましょう。足のトラブルや転倒防止につながります。

#### point

足の①大きさ、②幅、③周囲を合わせた靴をはこう



### 靴選び

靴が合わない、足が痛くて歩けないんですが...

多くの人は、サイズが合っていない靴を選んでしまっています。靴は足の大きさで選びがちですが、足幅と甲の周囲も重要です。3つがあった靴を選ぶことが大切です。

## 足元から元気に歩いて楽しむ!

病気や年齢で足、歩行に悩んでいる人はいませんか? それぞれの生活に合わせて自分から歩くことができれば生活が楽しく喜びにつながっていくことでしょう。今回は、多くの人が悩みを抱える要介護者向けの靴選びなどについて紹介します。



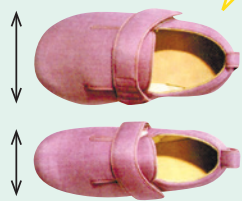
同じ大きさの靴でも、左右で横幅の違う靴を選ぶこともできるんですよ!

#### 【例】

26センチの靴でぶかぶかなんです...

採寸をしてみると...  
**足は25センチ**

横幅がきついで26センチの靴を選んでいました。



歩いて行動できることで生活の幅が、ぐ〜んと広がります。自分に合った靴や福祉用具で、快適な暮らしを送ることができます。

まだまだ知られていない福祉関連のシューズやこれからの時季はブーツなどもあります。まずは、専門家に相談してみたいですね。



プラネット鳥取代表 (株)トータルゲート代表取締役 門脇 総司さん

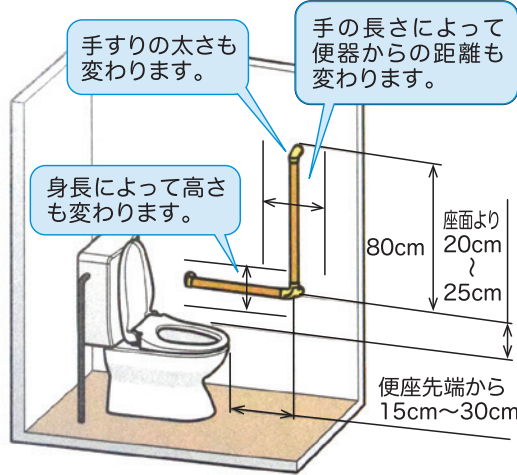
#### 【プロフィール】

福祉用具プランナー管理指導者、転倒予防指導士など多数の資格を持つ。一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会の実施している研修ポイント制度で福祉用具選びのプロである福祉専門相談員の中で全国1位(2019年12月現在)



手すり

段差改善



体型や症状に合わせる事が大切です

### 歩きや立ち座りをサポート 住宅改修

立ち歩きをサポートするために、段差の解消や手すりの設置が必要です。手すりは、およその設置の目安はありますが、利用する人の背の高さなど体型や症状によっても設置場所が変わってきます。数センチ変更しただけでも、立ち座りが簡単になったりするので、要介護者や高齢者に合わせた施工のアドバイスができる「福祉住環境コーディネーター」の専門員に相談するのもいいですね。

## 福祉用具が日本の介護を支えます。

福祉用具プランナーは — 福祉用具を導入し、必要とする人々の生活を支える知識と技術、情報を共有しています。

### 福祉用具プランナー研究ネットワーク【プラネット】

高齢人口は増え続け、その介護を支える人的支援は量的な限界を指摘されています。

福祉用具が活用される機会は、介護のみならず障がいを持つ人の自立支援や医療現場での患者の生活を支える道具としてなど増大し続けています。

福祉用具プランナー研究ネットワーク

#### プラネット

福祉用具プランナー研究ネットワークとは、福祉用具プランナーの専門性育成のための「研修」、専門性向上のための「研鑽」、専門性確立のための「研究」をすすめる団体です。

(ホームページ)



(Facebook)



準会員も募集

#### 正会員(福祉用具プランナー)募集中!

全国の仲間とつながり、多職種連携を取りながら技術とサービスを提供できるよう仲間を募集しています!

※準会員は、保健師・看護師・理学療法士・作業療法士・社会福祉士・介護福祉士・義肢装具士・福祉用具専門相談員、建築士など福祉用具プランナー資格を取得していない人が対象です。